

【オートモビル工学科・工業科目】

各教科・科目	学 年 類 型 標準 単 位 数	1 年次 (令和 7 年度入学生)			2 年次 (令和 6 年度入学生)			3 年次 (令和 5 年度入学生)		
		必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択
工業	工業技術基礎	3~4	4 (16)							
	課題研究	3~4						3 (3)		
	自動車実習	6~12				4 (3)				2 (2) ②
	自動車製図	2~8								
	工業情報数理	2~4	3 (10)							
	自動車工学	4~8				2 (2)	2 (1) ②		2 (2)	2 (1) ②
	自動車整備	4~8					2 (1) ②			2 (1) ②
	通信技術	2~6					2 (1) ※○			2 (1) ※○
	ハードウェア技術	2~8					2 (1) ※○			2 (1) ※○
	デザイン史	2~4								2 0
	自動車整備実習	6~12					8 (2) ②			8 (2) ②
	自動車製作実習	6~12					4 (2) ③			4 (2) ③
	オートモビルCAD演習	2					2 (1) ③			
	カーメカニズム	4								4 (1) ③
	加工技術応用	2					2 (1) ※			2 0 ※
	労働と安全	2					2 (1)			
	プロダクトCAD演習	2					2 (1)			
	3DCAD演習	2								2 0
	自動車に関わる法令	2								2 0
	基礎自動車工学	2								2 (1)
	屋内配線施工技術応用	2					2 (1) ※○			2 (2) ※○
	基本情報処理技術	2					2 (1)			2 (1)
	電子工作演習	2					2 (1) ※○			2 (2) ※○
色彩演習	2					2 (2)			2 (1)	
デザイン	2					2 (1)			2 (1)	
グラフィックデザイン実習	2					2 (2)				
専門教科・科目単位数計			7			12~18			18~25	
総合的な探究の時間			0			0			0	
自立活動			0~1			0			0	
ホームルーム活動			1			1			1	
生徒一人当たりの履修単位数計			34~40			29~35			22~44	

【工学科・令和6年度入学生の習熟度別授業・少人数指導授業等】

習熟度別授業	<p>(1) 数学Ⅰ (4単位) は1学級2展開</p> <p>(2) 英語コミュニケーションⅠ (1年次3単位) 英語コミュニケーションⅡ (2年次2単位、3年次2単位) は1学級2展開</p>
少人数指導授業	<p>(1) 言語文化 (2単位) は1クラス2展開で実施。</p> <p>(2) 体育 (1年次: 3単位、2年次: 2単位、3年次: 2単位)</p> <p>1年次: 1クラス2展開</p> <p>2年次: 1クラス2展開</p> <p>3年次: 工業科とデュアルシステム科を併せて、2クラス3展開×2+1クラス展開×2=8講座</p> <p>(3) 「働くこと生きること (1単位)」は、チームティーチング。</p> <p>(4) 工業: 工業技術基礎 (4単位)、課題研究 (3単位) 及び実習科目は、1クラス3~5展開</p> <p>工業情報数理 (2単位 (プロダクトのみ3単位))、機械製図 (2~3単位)、自動車製図 (2単位)</p> <p>2、3年次の学校必履修の自動車工学 (2単位)、電気回路 (1年3単位)、電気製図 (2単位)、電子回路 (2単位)、デザイン製図 (2単位)、デザイン実践 (2年2単位及び3年2単位)、デザイン材料 (2年2単位及び3年2単位)、は1クラス2展開</p>
備考	<p>(1) 1 単位時間は45分とする。</p> <p>(2) 卒業認定修得単位数は、74単位である。</p> <p>(3) 2年次より次の「科目群 (履修パターン)」のいずれかを選択する。</p> <p>①プロダクト工学、②自動車整備、③自動車製作、④電気システム、⑤コンピュータシステム、⑥ビジュアルデザイン、⑦プロダクトデザイン (講座数) の右①~⑦は、それぞれの履修パターン別科目であることを指す。</p> <p>(4) 「情報Ⅰ」(2単位) は、1年「工業情報数理」(2単位) によって代替履修する。</p> <p>(5) 「総合的な探究の時間」(3単位)、3年「課題研究」(3単位) によって代替履修する。</p> <p>(6) ○は2・3年次同時履修。</p> <p>(7) ※は履修機会が1度の科目。</p> <p>(8) ★は在京外国人等対象生徒教科科目。週時程外の放課後に設置する。</p> <p>(9) 論理国語と英語コミュニケーションⅡは2年次(2単位)及び3年次(2単位)の4単位の学習をもって、科目の履修となる。</p> <p>(10) 論理国語は現代の国語及び言語文化を履修した後に履修させる。</p> <p>(11) 日本史探求及び世界史探求は歴史総合を履修した後に履修させる。</p> <p>(12) 倫理及び政治経済は公共を履修した後に履修させる。</p> <p>(13) 数学Ⅱと数学Ⅲを履修する場合は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲの順に履修させる。</p> <p>(14) 数学Aを履修する場合は、数学Ⅰと並行してあるいは数学Ⅰを履修した後に履修させる。</p> <p>(15) 数学Bを履修する場合は、数学Ⅰを履修した後に履修させる。</p> <p>(16) 物理、化学については、それぞれに対応する基礎を付した科目を履修した後に履修させる。</p> <p>(17) 芸術科目については、Ⅱを付した科目はそれぞれに対応するⅠを付した科目を履修した後に履修させる。Ⅲを付した科目は、それぞれに対応するⅡを付した科目を履修した後に履修させる。</p> <p>(18) 外国語の科目において、Ⅱを付した科目はそれぞれに対応するⅠを付した科目の履修後に履修させる。</p> <p>(19) 日本語理解については、1年次の修得者に対して日本語検定3級取得には1単位、2級以上取得には2単位の増加単位修得を卒業時に認める。</p> <p>(20) 特別の教育課程 (日本語指導) は指導の対象の生徒のみ実施する。</p> <p>(21) 自立活動は、通級による指導の対象生徒のみ実施する。</p> <p>(22) 東京都立工業高等学校において拠点校実習を実施 (ホームページデザイン・インテリア・鋳造について、年間4時間)</p>